

山形県広報誌県民のあゆみ令和元年5月号テキスト
データ読み上げ用として加工しています。

<表紙>

山形県広報誌／県民のあゆみ 令和元年5月号 第609号

県民のあゆみ 5月号

特集 “やまがた創生”を拡大・加速
奏であう人 地場に根付き活かすものづくり
やまがた伝説 滝

留学生就職促進プログラムに参加した学生の皆さん。多様な人材に県内で活躍してもらえるよう、大学と地域の自治体や産業界が連携したさまざまな取組みが進んでいます。(撮影協力：山形大学工学部)

<2から3ページ>

タイトル) **県政できごとアラカルト** こんなことがありました

1) 上皇上皇后両陛下の写真展を開催しました

記念写真展「平成の山形県行幸啓」(2月24日から3月7日まで 山形市)

上皇上皇后両陛下におかれましては、天皇皇后両陛下として4回御来県いただきました。県では、1月に御即位30年を迎えられたことをお祝いする、記念の写真展「平成の山形県行幸啓」を県立博物館と山形県郷土館「文翔館」で開催しました。平成4年の「べにばな国体」や平成28年の「全国豊かな海づくり大会」など、御訪問の先々で多くの県民と親しく御交流いただいている御様子などを写した約80点の写真パネルを展示し、多くの皆様に御覧いただきました。

2) 1万人が大歓声!

モンテディオ山形 VS 大宮アルディージャ(3月17日 天童市)

2月に開幕したJ2(じえいつ一)リーグの第4節。ホーム開幕戦には、1万人を超える大勢のサポーターが駆けつけ、大きな声援を送りました。その結果、3試合連続での完封勝利、そして4年ぶりのホーム開幕戦の勝利をつかみ取り、選手とサポーターが喜びを分かち合いました。ホームでのスタートダッシュに成功したモンテディオ。42節までの長い戦いは始まったばかりです。スタジアムへ足を運んでJ1(じえいわん)復帰へ向け大きな声援を送り、皆さんの力で勝利を後押ししましょう。

3) 県内移動・周遊の利便性向上!

東北中央自動車道「東根インターチェンジから東根北インターチェンジ」開通式(3月23日 東根市)

空の玄関口「おいしい山形空港」へのアクセス向上につながる、東根インターチェンジから東根北インターチェンジ間が開通しました。これにより、インバウンド観光の促進につながるほか、地域特産物をより速く輸送できるようになります。4月13日には、南陽高畠インターチェンジから山形上山インターチェンジ間が開通し、南東北の県庁所在地を結ぶ環状ネットワークが形成されました。観光誘客や交流人口の拡大、産業振興など、本県はもとより東北の高速道路の全線開通に向け、要望などの取組みを継続していきます。

4) 日本農業遺産認定！

山形県紅花振興協議会（3月25日 山形市）

室町時代末期から続く山形の紅花生産。日本の伝統文化の発展に大きく貢献し、現在では日本で唯一、山形にだけ残る生産と染色用加工システムが評価され、日本農業遺産に認定されました。会議で吉村知事は、「認定されたことは喜ばしく、携わる方々にとって、大きな誇りとなるもの。」とあいさつしました。今回の認定を契機に、栽培面積の拡大や紅花文化の伝承などの支援の強化と、国内外への積極的な情報発信により、地域の活性化につなげていきます。

5) 四季を通した誘客の拡大に向けて

国際定期チャーター便の到着歓迎（3月28日 東根市）

台湾から県内2空港への春夏期の定期チャーター便の運航が始まりました。この日、第1便が到着した山形空港は満開の啓翁桜で彩られ、「やまがた愛の武将隊」などの関係者が華やかな雰囲気でお客様を出迎えました。台湾からの春夏期の定期チャーター便の運航は県内では初めてで、8月2日までの間、山形・庄内空港を合わせて84便が運航されます。今後も、四季を通した本県の魅力のPRにより、一層の誘客拡大に取り組んでいきます。

タイトル) にっこり知事室！

外国の皆さん、山形県へようこそ!!

2018年の1年間で日本を訪れた外国人は初めて三千万人を突破！政府の2020年目標は四千万人です。こうした中、本県にも海外からたくさんの方に来ていただけるようになり、最近では、山形駅前でも外国の方をよくお見かけします。

人口減少により地域経済の縮小が懸念される地方にとって、外国人の誘客拡大は地域経済を活性化させるために重要なことなんですね。

昨年度は、本県における国際チャーター便が年間150便を超え、今年度はさらに増える見込みです。台湾からの春夏チャーター便の運航は、本県が日本一の生産量を誇るさくらんぼの時期まで続きます。シーズンには、県内各地でさくらんぼ狩りを楽しむことができますので、冬の蔵王の樹氷と並んで、たくさんの方々の国内外の方々から本県のさくらんぼ狩りを楽しんでいただけたらと思います。

外国人が安心して快適に観光を楽しめるよう、キャッシュレス決済や飲食メニュー等の外国語表記など、官民一体となって県民みんなで受入態勢を整備していくことで、さらなる誘客につなげていきたいですね。皆さんも山形らしい、心に残るおもてなしでお迎えください。

< 4 から 5 ページ >

タイトル) 特集 “やまがた創生” を拡大・加速

今年度は、「県民視点」、「現場主義」、「対話重視」を引き続き大切にしながら、「自然と文明が調和した新理想郷山形」の実現に向けて、

1. 県民総活躍、2. 産業イノベーション、3. 若者の希望実現、4. 健康安心社会、5. 県土強靱化 を 県政運営の基盤として「やまがた創生」を拡大・加速し、県民誰もが山形らしい豊かさを実感できるよう、各種施策を力強く進めていきます。

今年度当初予算（一般会計）の概要

歳出 6,131 億円

教育費 1,141 億円 (18.6%) / 公債費 905 億円 (14.8%) / 民生費 789 億円 (12.9%) / 商工費 692 億円 (11.3%) / 土木費 622 億円 (10.1%) / 農林水産業費 439 億円 (7.2%) / 総務費 392 億円 (6.4%) / 警察費 268 億円 (4.4%) / 衛生費 208 億円 (3.4%) / その他 675 億円 (11.0%)

歳入 6,131 億円

自主財源 2,720 億円 (44.4%) / 依存財源 3,411 億円 (55.6%) / 県税 1,115 億円 (18.2%) / 諸収入 813 億円 (13.3%) / 繰入金 267 億円 (4.4%) / その他 自主財源 524 億円 (8.6%) / 地方交付税 1,738 億円 (28.4%) / 県債 762 億円 (12.4%) / 国庫支出金 681 億円 (11.1%) / その他依存財源 231 億円 (3.8%)

注：表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある

用語解説

【歳出】

- ◎公債費…県債返済などに使うお金
- ◎民生費…生活保護などの社会保障のためのお金
- ◎衛生費…医療や健康増進、環境保全などのためのお金

【歳入】

- ◎地方交付税…自治体間の財源の不均衡を調整するために、一定のルールで国から交付されるお金
- ◎県債…災害対応や道路・学校を建てるなどの目的で県が借りるお金
- ◎国庫支出金…道路の整備など、特定の事業に対して国から交付されるお金
- ◎自主財源…県税など、県が自ら収入する財源
- ◎依存財源…国から交付されたり割り当てられたりする財源

【予算規模】

今年度の当初予算は、総額 6,131 億円となり、3年ぶりに前年度を上回る予算となりました。多様な人材の育成・確保、県民所得・生産性の向上と人手不足の解消、災害対応力の強化や消費税率の引上げ

への対応など、直面する諸課題に対応し、「やまがた創生」を拡大・加速していきます。

【歳入予算】

県税は、個人県民税や地方消費税の増収などにより1,115億円となり、前年度比7年連続の増加を見込んでいます。また、地方交付税も増加しますが、臨時財政対策債が減少するため、これらを合わせた実質的な地方交付税は減少する見込みです。

【県債残高の見込み】

財政健全化の目標として掲げた臨時財政対策債と補正予算債などを除いた今年度末の県債残高は、6,757億円となる見込みです。昨年度の大雨災害への対応などにより、前年度の同じ時期と比べて66億円増加する見通しです。

本庁組織の部局改編

「やまがた創生」を拡大・加速するため、組織体制を整備しました。

■防災くらし安心部の新設

防災力をはじめとする総合的な危機管理機能の充実・強化を図るとともに、県民が地域で安全・安心に生活するための支援を強力に推進するため、「防災くらし安心部」を新設しました。

これからの県づくりに向けて、重点的に取り組む事業の方向性やその進め方を示した「短期アクションプラン」の7つの柱に基づき、さまざまな施策を展開していきます。

短期アクションプラン7つの柱

- 1 郷土愛を育み未来を築く子育て支援・多彩に活躍する人づくり
- 2 いのちと暮らしを守る安全安心な社会の構築
- 3 新たな価値の創造・拡大・発信による活力ある産業の集積
- 4 地域の豊かさを支え、高いブランド力で国内外に展開する農林水産業
- 5 世界に誇る山形の魅力を発信し国内外の旺盛な活力を引き込む「観光立県山形」の確立
- 6 再生可能エネルギーによる産業振興と地域活性化、国内外に誇れる優れた環境資産の保全・創造・活用
- 7 地域活力と多様な交流を生み出し災害に強い県土基盤の形成

1 「郷土愛を育み未来を築く子育て支援・多彩に活躍する人づくり」の主な事業

●保育士の確保 新規 200万円

県外保育士養成校学生の県内就職を促進するための就職ガイダンスの開催や県内保育施設での就業体験への支援、潜在保育士の再就職を促進するための県内保育士養成校卒業生への情報提供を行います。

●子どもの居場所づくりの推進 拡大 800万円

子ども食堂など子どもの居場所の運営を支援し、子どもたちを地域全体で見守り・支える取組みを県内全域に拡大・定着させます。

●外国人総合相談ワンストップセンターの整備・運営 新規 1,800万円

在住外国人や外国人を雇用する企業向けにワンストップで情報提供・相談を行う一元的相談窓口を設置します。

ピックアップ（写真キャプション）

必要な情報について、適切に提供できる体制を整備し、在住外国人が安心して生活ができ、企業が円滑に外国人を雇用できる環境づくりを進めます。

2 「いのちと暮らしを守る安全安心な社会の構築」の主な事業

●受動喫煙防止対策の推進 拡大 東北初 3,100万円

望まない受動喫煙の防止に向け、喫煙専用室などの設置や施設の禁煙化に合わせた改装を行う飲食店への支援など受動喫煙防止対策を推進します。

●低所得者世帯に対する修学旅行支度援助費の支給 拡大 東北初 100万円

生活保護世帯の子どもが修学旅行に参加する経費に対する助成を、中学生に加え小学生まで拡大します。

●防災力向上の取組み強化 新規 1,300万円

迅速かつ確実な情報伝達体制の整備、自主防災組織の活性化、県民などへの防災教育や啓発活動の充実に取り組み、地域防災力の強化を図ります。

ピックアップ（写真キャプション）

昨年の豪雨災害をはじめ、全国で甚大な被害をもたらした災害を踏まえ、自助・共助・公助を一体とした減災の取組みを進めます。

〈写真提供：国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所〉

3 「新たな価値の創造・拡大・発信による活力ある産業の集積」の主な事業

●労働者の所得向上に向けた支援の充実 拡大 2億8,100万円

正社員化を促進する奨励金の拡充や、「所得向上促進アドバイザー」の創設など、県内労働者の正社員化・所得向上の取組みを強化します。

●「日本一美酒県山形」フェア（仮称）の開催 新規 1,000万円

県産酒を中心に、食や伝統工芸といった県産品、観光などを総合的にPRし、山形の美酒・美食を味わうフェアを開催します。

●多様な人材の確保とロボットなどの導入支援による生産性向上 新規 7,800万円

就業者確保と労働生産性向上のため、女性・高齢者・障がい者・外国人の就業に向けた取組みや企業のロボット・IoT（アイオーティー）導入の促進、AI（エーアイ）人材育成研修を行います。

ピックアップ（写真キャプション）

県内企業のロボット導入を促すため、企業の人材育成の取組みを強化します。

4 「地域の豊かさを支え、高いブランド力で国内外に展開する農林水産業」の主な事業

●農林業の専門職大学設置に向けた大学基本構想の策定 新規 東北初 1,700万円

未来の農林業を担う高度な人材の育成に向け、専門職大学の教育理念・設置場所などを定める基本構想

を策定します。

●「やまがた森林(モリ)ノミクス」のさらなる推進 拡大 2億500万円

新たな森林管理システムの導入に伴う市町村への技術的支援や、林業事業者への高性能林業機械の導入などを支援します。

●園芸試験場整備と収益性の高い産地づくりによる「園芸大国やまがた」の加速化 拡大 26億8,400万円

次世代の園芸農業を支える新たな研究に取り組む拠点を整備するほか、さくらんぼの収穫作業などの省力効果が高い平棚・Y字仕立ての導入など、競争力の高い産地づくりを支援します。

ピックアップ（写真キャプション）

さくらんぼ「山形C12号」の導入を契機として、平棚など新しい仕立て方の導入を支援します。

5 「世界に誇る山形の魅力を発信し国内外の旺盛な活力を引き込む「観光立県山形」の確立」の主な事業

●観光地域づくりの舵取り役となる組織（DMO）の育成 新規 100万円

地域と共同で観光地域づくりを行う組織を育成し、ここだけ・いまだけの商品展開を行い、交流人口拡大に取り組みます。

●滞在型観光の促進などインバウンド拡大に向けた取組み 拡大 2億9,300万円

台湾からの国際定期チャーター便の運航拡大に向けた誘客プロモーションや、スポーツツーリズムの推進などに取り組みます。

●「山寺と紅花」の魅力を活かした誘客の促進と地域活性化の推進 拡大 1,800万円

日本遺産認定を契機として、その魅力を国内外に発信し、観光振興や交流人口の拡大、地域活性化につなげます。

ピックアップ（写真キャプション）

山寺と紅花文化に関連する観光資源を幅広く集め、その景観や文化的な魅力を国内外にPRします。

6 「再生可能エネルギーによる産業振興と地域活性化、国内外に誇れる優れた環境資産の保全・創造・活用」の主な事業

●市町村災害廃棄物処理計画の策定支援 新規 100万円

市町村が災害廃棄物を適正かつ迅速に処理できるよう計画の早期策定を支援します。

●再生可能エネルギーの地産地消モデル事業への支援 拡大 2,200万円

再エネ電力の地産地消と効率的な利活用のため、県産の再エネ電力の供給と省エネサービスの提供を行うモデル事業を支援します。

●家庭及び事業所における蓄電池整備などの支援 拡大 1億1,000万円

自然災害時の電力供給停止に備えたエネルギー確保などのため、蓄電池の導入支援を通して、分散型電源の導入を促進し、電力面での災害対応力を強化します。

ピックアップ（写真キャプション）

地震や豪雨など自然災害による電力供給停止に備え、太陽光パネルの新規導入と同時に行う蓄電池の設

置を支援します。

7 「地域活力と多様な交流を生み出し災害に強い県土基盤の形成」の主な事業

●福島・米沢間トンネル整備の早期事業化、奥羽・羽越新幹線の早期実現 拡大 2,900 万円
奥羽新幹線実現の足掛かりとなるトンネル整備の早期事業化に向け、シンポジウムの開催や動画・看板の製作など、機運醸成等の取組みを強化します。

●防災・減災、国土強靱化への対応 新規 89 億 700 万円
近年頻発する自然災害を踏まえ、河川の堤防や砂防施設の整備、農業用施設の改修など、防災・減災事業に取り組みます。

●県・市町村・企業・大学などオール山形での移住定住・人材確保策の一体的展開 新規 東北初 1 億 5,600 万円
移住定住・人材確保策をオール山形で一体的に展開する中核組織の設立に向け、県と市町村による推進組織を設置し、移住及び就業促進に一体的に取り組みます。

ピックアップ（写真キャプション）

首都圏及び県内の相談体制を充実し、移住希望者を本県につなぐ機能の強化を図ります。

直面する諸課題の解決に向けて

「やまがた創生」の拡大・加速のため、本県における喫緊の課題解決に取り組みます。

〈主な事業〉

●外国人留学生の受入れ拡大 NEW 1,300 万円
高等教育機関などへの留学生受入れ拡大のため、奨学金支給などにより支援します。

●灯油購入費などへの支援 NEW 1 億 3,400 万円
低所得世帯が安心して暮らせるよう、冬場の暮らしの支援を行います。

●消費税率引上げの影響などに係る小規模事業者や商店街などに対する支援 NEW 2,100 万円
消費税率引上げに対応し、キャッシュレス決済や個人消費喚起の取組みを支援します。

ピックアップ（写真キャプション）

ポイント還元策に対応するため、キャッシュレス決済の導入を進めます。

< 8 から 9 ページ >

タイトル) **奏であう人** ポリウム 49

撮影場所◎長井ブルワリークラフトマン（長井市）

キーワード…地場に根付き活かすものづくり

養蚕から染め、織り、仕立てまでオール山形の着物づくりに取り組む職人と、故郷の魅力にこだわった

ビール造りに挑戦するアーティストのお二人に、話をお聞きしました。

寺本友里(てらもと ゆうり)さん(山形市)

◎広島県出身、山形市在住。沖縄県立芸術大学で染色と織りを学ぶ。卒業後、441年の歴史を持つ老舗の呉服会社「とみひろ」に入社。「とみひろ染織工芸」にて、オリジナル紬の着物と帯の制作をしており、養蚕、デザイン、染め、織りに従事。古代から続く幻の染め物と言われる貝紫(かいむらさき)染めの作品づくりにも取り組む。

写真キャプション)

山形市小立にある染織工芸の工房にて、糸繰りの様子。手織りの下準備で、染色を終えた糸の束を綜割(ふわり)に掛けて、木枠に糸を巻き直す作業。工房のスタッフは7名。寺本さんを含め、3名が県外から移住して着物づくりに取り組んでいる。

村上滋郎(むらかみ じろう)さん(長井市)

◎長井市出身・在住の「長井ブルワリークラフトマン」代表。東北芸術工科大学卒業、京都市立芸術大学大学院修了後、京都で創作活動を行う。2013年にUターン、2015年よりクリエイターグループ「アメフラシ」を運営。2017年から地元産にこだわったクラフトビールの醸造に挑戦中。東北芸術工科大学洋画コース講師。

写真キャプション)

小さなブルワリーのため工程はほぼ手作業。酒税法上、年間の最低生産量が決められており、材料の調達、賞味期限を考慮した管理などが求められる。地元の魅力を表現し、広められるものを増やそうと、クラフトビールとしての質を高める努力を続けている。

ものづくりと地域との関わり

村上さんが運営に参加している「アメフラシ」は、地元の資源や環境を活かし、地元だからこそできるデザイン、ワークショップ、アーティスト活動を通して、地域への愛着を育てています。ビール造りに取り組むきっかけも同じだったと言います。

「長井の水は超軟水でとてもおいしいのです。これを活かしたいと考え、思い浮かんだのがビールでした。

さらに、フレーバーの素となる副原料に、地域と関わりの深い食材として、酸味のあるひょう(スベリヒユ)、苦味が特長の茎立ち、風味豊かな秘伝豆のきな粉などを使うことで、郷土料理に合う地元ならではのビールが造れると思いました」。

試行錯誤しながら試験醸造を繰り返し、いよいよ今年の2月から正式出荷、長井市内限定での販売がスタートしました。

寺本さんは、大学で染色と織りを学び、できれば将来も仕事として続けたいと考え、着物づくりの全工程を一貫して手掛ける「とみひろ」に入社を決意して山形に移住しました。

地元の方に手伝ってもらい蚕の世話をし、デザインや草木染めの材料の採集、染め、織りを担当しています。

「10キログラムもの桑の葉を抱え、蚕に与える昔ながらの作業は大変です。それでも、まゆの美しさ、

蚕が糸を吐き出す神秘的な様子を見るのはかけがえのないものです。

自然の材料から色を取り出す草木染めも、同じように手間がかかるもの。山形の古くからの知恵や技術に驚かされます」。

山形らしさと新しい取組み

「沖縄で触れていた色と、山形で感じる色は、空気のせいでしょうか、どこか違うように思います。草木染めの色は、それ自体が派手でも自己主張するのでもなく、身に付ける人を引き立てる色。周りを笑顔にできる色だと思います。山形の人への優しさに通じます。」と寺本さんは話します。

「山形に来て出会ったおいしい食べ物は、私の心を豊かにし、色や織りに深みを持たせてくれています。この恵まれた環境のなかで、いつか山形ならではの紅花染めに挑戦したいと思います。山形の伝統に自分らしい新しさを取り入れ、作品をつくり、残していけたらと思っています」。

村上さんが言葉をつなぎます。

「寺本さん流の紅花染め、いいですね。伝統工芸にも必ず始まりがあり、新しいチャレンジが繰り返されて受け継がれてきたはずですよ。」

新しい取組みは、往々にして否定されがちですが、ものづくりは幅が広く分野もさまざまです。アーティストをはじめ、ものづくりに取り組む若い人たちが、地域の中で達成感を共有でき、もっと活動しやすい場所ができてほしいと思います」。

地域へのこだわりがブランド価値に

「紬の歴史が深い白鷹町で、4年前に自分たちで土地を開墾し、1300本の桑を植栽しました。染料の材料も、村上さんのビールの副原料と同じで、さくらんぼ、「ラ・フランス」、柿の枝や葉や皮など、身の回りの草木にこだわっています」。

着物を作る過程で、養蚕から和裁士による仕立てまで、全て自分のところで行っているのは、日本でもみひろだけでは、と寺本さん。

「まだまだ勉強が必要ですが、手染めや手織りといった自分の作品を通して、自然や歴史、伝統などの山形の良さ、着物の素晴らしさを、もっと多くの若い方々に伝えることができたと思っています」。

「私たちのビールも、全て地元の材料で造るのが夢です。」と村上さんが応えます。

「小学生の頃には、身近にホップ畑がたくさんありました。この長井のホップ作りを再び盛んにし、ビールに使いたいと思っています。大麦を生産してくれる農家の方も出てきてくださいました。」

オール山形のビール、オール山形の着物は、さまざまな気付きやふるさとを想う気持ちにつながり、地域が元気になっていくと思います。その結果として、地元のブランド価値を高めていけたらいいですね」。

<10から11ページ>

タイトル) 県議会だより 第72号

写真キャプション) 2月定例会 (着物姿で伝統産業をPR)

2月定例会の概要

平成31年2月定例会は、2月19日から3月14日までの24日間の会期で開催され、平成31年度一般会計予算や平成30年度一般会計補正予算など知事提出の106議案と、議員発議による「山形県スポーツ推進条例」などを可決・同意しました。また、2件の請願を採択するとともに、4件の意見書を可決し、国に提出することとしました。主な質疑内容は、次のとおりです。

代表質問の質疑内容

自由民主党 森谷 仙一郎 議員 天童市選挙区 2月25日

- ◆山形県スポーツ推進条例について
- ◆県における障がい者雇用の推進に向けた取組みについて
- ◆やまがた創生におけるインフラ整備について
- ◆受動喫煙防止条例に係る附帯決議を踏まえた取組みについて
- ◆今後の子育て支援施策の方向性について
- ◆児童虐待への対応について
- ◆本県果樹の産出額増加に向けた取組みと「ラ・フランス」のブランド力強化について
- ◆山形県総合文化芸術館の目指す姿と指定管理者の選定について
- ◆特殊詐欺被害防止策について

県政クラブ 青柳 安展 議員 東根市選挙区 2月25日

- ◆平成31年度当初予算について
- ◆企業局における経営戦略の推進について
- ◆グローバルな環境問題に対する地域の取組みについて
- ◆子どもの貧困対策の推進について
- ◆共生社会の実現に向けた農福連携の取組みについて
- ◆若者の所得向上対策について
- ◆教員の働き方改革の視点を踏まえた学校経営について
- ◆書写教育の充実について

一般質問の主な質疑内容

自由民主党 能登 淳一 議員 村山市選挙区 2月26日

- ◆県産米の高価格帯での販売戦略について
- ◆外国人労働者等の相談体制の整備について
- ◆地域医療連携体制について など

公明党 菊池 文昭 議員 山形市選挙区 2月26日

- ◆高齢者免許証更新時等の医療職配置の効果について
- ◆地域防災力の向上について
- ◆医療的ケアを要する子どもへの支援について など

自由民主党 矢吹 栄修 議員 天童市選挙区 2月26日

- ◆ICTやロボットを活用した健康な加齢について
- ◆副業の推進について
- ◆ライフステージに合わせた住宅の循環について など

自由民主党 小松 伸也 議員 最上郡選挙区 2月27日

- ◆次期総合発展計画策定への取組みについて
- ◆県立病院の経営健全化に向けた取組みについて
- ◆農林業の専門職大学設置の考え方について など

県政クラブ 石黒 覚 議員 酒田市・飽海郡選挙区 2月27日

- ◆日本海ヘルスケアネットの現状と今後への期待について
- ◆多様性を認め合う社会構築に向けた本県の現状と今後の取組みについて
- ◆飛島の漁業振興について など

自由民主党 加賀 正和 議員 尾花沢市・北村山郡選挙区 2月27日

- ◆地域における産婦人科・小児科の現状と課題について
- ◆いきいき雪国やまがた基本条例制定を踏まえた平成31年度の取組みについて
- ◆中山間地向けの水稻早生品種の開発について など

予算特別委員会の主な質疑内容

自由民主党 柴田 正人 議員 南陽市選挙区 3月1日

- ◆保育士の確保に向けた取組みについて
- ◆多様な人材の確保について など

県政クラブ 青木 彰榮 議員 西置賜郡選挙区 3月1日

- ◆困難を有する若者等への支援について
- ◆地域を支える小規模農家の支援について など

自由民主党 渋間 佳寿美 議員 米沢市選挙区 3月1日

- ◆家庭支援の取組みについて
- ◆老舗企業と事業承継について など

自由民主党 鈴木 孝 議員 東村山郡選挙区 3月4日

- ◆「生きる力」を育む教育の推進について
- ◆人手不足に対応した生産性向上のための最先端技術の活用について など

無所属 阿部 信矢 議員 鶴岡市選挙区 3月4日

◆伝統野菜の今後の振興方策について

◆在宅介護への支援について など

自由民主党 伊藤 重成 議員 最上郡選挙区 3月4日

◆山形大学の重粒子線がん治療施設の活用について

◆若者に対するがん予防支援事業について など

県政クラブ 吉村 和武 議員 山形市選挙区 3月5日

◆女性も活躍できる県づくりについて

◆PTAに対する支援の強化について など

自由民主党 後藤 源 議員 米沢市選挙区 3月5日

◆板谷トンネルの実現に向けた今後の進め方について

◆知事の県政運営と政治姿勢について など

山形県スポーツ推進条例

議員提案条例を全会一致で可決

スポーツの推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、県民の心身の健康の増進と健康寿命の延伸を図り、健康で豊かな県民生活と活力ある地域社会の実現に寄与することを目的とした「山形県スポーツ推進条例」が3月15日に公布・施行されました。

条例では、基本理念を定め、県の責務や県民等の役割を明らかにするとともに、スポーツの推進に関する施策の基本となる事項を規定しています。

※条例の全文は県議会ホームページからご覧いただけます。

写真キャプション) 提案理由を説明する奥山誠治議員

2月定例会で採択した請願

●県の機関における行政書士法の理解と窓口業務の適正化について

●消費税率引き上げ・軽減税率制度導入に係る事業者への支援について

2月定例会で可決した意見書

●女性活躍の加速化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

●高速交通ネットワークの安全対策の強化を求める意見書

●新たな外国人材の受入れの円滑な実施を求める意見書

●消費税率引上げに伴う事業者等への支援を求める意見書

平成30年度議会政策提言

平成30年に設置した3つの特別委員会における審査・調査結果を踏まえて、県勢発展につながる施策を県議会の総意として取りまとめ、平成31年3月13日、知事に対して議会政策提言を行いました。

◎提言1 未来を担う人材の育成と若者の県内定着・回帰に向けた対策の推進

- (1) 学校や地域における教育力の向上
- (2) 結婚・子育て支援の充実
- (3) 若者の県内定着・回帰の促進

◎提言2 県民の生命を守り持続的な成長を実現する県土強靱化・安全安心対策の推進

- (1) 頻発する災害に備えた県土強靱化の推進
- (2) 高速交通ネットワークの整備実現
- (3) 持続可能な医療提供体制の構築

◎提言3 経済のグローバル化や人口減少社会に対応した産業振興・雇用対策の推進

- (1) 産業人材の確保及び先進技術の活用による産業振興の推進
- (2) 交流人口拡大に向けた取組みの推進
- (3) 働き方改革に関する取組みの推進

※政策提言全文については、県議会のホームページからご覧いただけます。

写真キャプション) 吉村知事に提言書を手交する志田英紀議長

問い合わせ◎編集発行／山形県議会事務局議事調査課 電話 023-630-2845

詳しくは検索窓に「山形県議会」と入れてクリック

<12 から 13 ページ>

本県初の「中核市」誕生への県の協力や支援

県はこれからもサポートしていきます

山形市の中核市への移行

●住民の方により身近なところで行政サービスが行われるよう、中核市に移行した山形市へ、県から保健衛生や福祉分野など2,543事務が移譲されました。

【中核市とは?】 市には4種類あります。

一般市 米沢市 鶴岡市など(人口5万人以上)

施行時特例市 小田原市 佐賀市など(平成27年4月1日時点で特例市)

中核市 山形市 福島市など(人口20万人以上)

政令指定都市 仙台市 横浜市など(人口50万人以上)

後者になるにつれて人口規模と事務権限が大きくなります

県の協力や支援について

これまでは・・・

●山形市で新たに設置する保健所や食肉衛生検査施設などの業務に必要な専門知識や技術を習得するため、市職員を受け入れ、研修を行っています。

●県から移譲する事務についてマニュアルや引継書を作成し、市の職員に対して業務ごとに説明会や研修会を開催しています。

これからも・・・

●山形市が中核市になった後も一定の期間、県の専門職員（獣医師、薬剤師、保健師）を山形市に派遣します。

●山形市へ移譲された事務について、その財源として国や県から交付金が交付されます。

●山形市と周辺市町が進める「連携中枢都市圏」※の形成に向けた取組みについて、県は後押しをして県勢発展に取り組んでいきます。

※「連携中枢都市圏」とは、中核市が周辺市町村と連携して、生活関連サービスの向上に加え、中小企業の販売促進など（圏域全体の経済成長をけん引して）活力ある社会経済を維持する新しい市町村連携のかたちです。

写真キャプション) 山形市中核市移行 市・県連絡会議

県はこれからも必要に応じて支援を行っていきます

平成 27 年 6 月 山形市長が県知事に対し中核市移行の協力を要請

平成 28 年 1 月から 山形市中核市移行市・県連絡会議の開催（3回）（移譲事務の協議・調整）

平成 29 年 4 月から 山形市職員の事前研修の受入れ（延べ 34 名）

平成 30 年 1 月 県・山形市による総務省への事前協議

平成 30 年 4 月から 山形市の中核市移行に係る事務引継要領を策定（移譲事務の引継ぎの準備・調整）

平成 30 年 7 月 山形市の総務省への中核市指定の申出について、県議会の議決を経て県が同意

平成 30 年 12 月 山形市の中核市移行に関係する県条例の改正

平成 31 年 3 月 山形市の中核市移行に伴う事務引継式

平成 31 年 4 月から 県の獣医師、薬剤師、保健師を山形市に派遣

写真キャプション) 山形市の中核市移行に伴う事務引継式

山形市以外にお住まいの方へ 県の業務について

●これまで県が担ってきた食中毒や感染症の予防、負傷した動物の収容といった専門的な業務などは、山形市へ移ります。

●山形市以外の市町村にお住まいの方に対しては、これまで同様、県において業務を行います。

問い合わせ ◎ 市町村課 電話 023-630-2084

日本一さくらんぼ祭り 今年「夜の部」も！！

生産量日本一を誇る山形県のさくらんぼ。その最盛期を迎える初夏、今年も山形市内で「日本一さくらんぼ祭り」を開催します。

さくらんぼ祭り名物「日本一巨大な流しさくらんぼ」をはじめ、「さくらんぼ種飛ばしニコニコ相性コンテスト」、「大鍋で清涼さくらんぼすくい」など、おいしいさくらんぼを楽しく味わえる、毎年大人気のイベントのほか、ダンスコンテスト、ご当地グルメフェスなど、子どもから大人まで楽しめる企画が目白押しです。

さらに、今年「夜の部」を初開催！ちょっぴり大人の雰囲気、おいしいお酒とおつまみをご堪能いただけます。

さくらんぼづくしの2日間をお楽しみください。

◎日時：

- 6月22日（土曜日） 10：00から17：00まで〈第1部〉 17：30から19：00まで〈第2部〉
- 6月23日（日曜日） 10：00から16：00まで

◎会場：文翔館前、山形市七日町大通り

◎有料シャトルバス運行（県庁と会場を往復）

問い合わせ ◎ 観光立県推進課 電話 023-630-2373

詳しくは検索窓に「日本一さくらんぼ祭り」と入れてクリック

旬のやまがた 美食レシピ

みんなが大好き 春が旬！の野菜 アスパラガス

置賜地域は、40年ほど前からアスパラガスの生産振興に取り組んでいる県内有数の産地です。近年、5月から9月まで継続出荷できる2期採り栽培が広まり、生産量が増加しています。春採りは、蓄えた養分を使って成長するため、甘みが強くみずみずしいのが特徴で、一番おいしい時期がまさに今！茎が太くて真っすぐで、緑が鮮やかで全体にハリがあり、穂先がしまったものを選んでください。今回は、丸ごと一本使ったボリュームと食べごたえのあるレシピを紹介します。

アスパラの丸ごとつくね焼き

●材料（2人前）：アスパラ 4本、豚挽肉 200グラム、小ネギ 2本、おろしショウガ 小さじ1、ゆずこしょう 小さじ1、しょうゆ 小さじ1、卵 二分の一個、片栗粉 小さじ2、スライスチーズ 2枚、日本酒 大さじ1、油 小さじ1、ミニトマト 4個

●作り方：

1. アスパラは、根元を切り落とし、硬い皮をピーラーでむく。小ネギは、小口切りにする。チーズは、半分に切っておく。
2. ボウルに豚挽肉、小ネギ、おろしショウガ、ゆずこしょう、しょうゆ、卵、片栗粉を入れて、粘り気が出るまでこねる。
3. アスパラにチーズを巻き、その上に②の肉だねを巻き付ける。

4. 熱したフライパンに油をひいて③を並べ、中火で焼く。
5. 焼き色がついたらひっくり返し、日本酒を入れ蒸し焼きにする。
6. 器に盛り付け、ミニトマトを添えて完成。

出典：JA山形おきたま広報誌「みらくる」

問い合わせ ◎ 置賜総合支庁農業技術普及課 電話 0238-57-3411

<14 から 15 ページ>

タイトル) おいしい山形インフォメーション

山形県の人口と世帯数 平成 31 年 3 月 1 日現在

人口総数 1,085,401 人 (前月比マイナス 1,017 人) 世帯数 398,387 (前月比マイナス 65 世帯)

試験

山形県職員採用試験

今年度の山形県職員採用試験を、以下のとおり実施予定です。

試験名 大学卒業程度

申込受付期間 5月10日(金曜日)から5月30日(木曜日)まで

第1次試験日 6月23日(日曜日)

試験名 短大・高校卒業程度 市町村立学校事務職員

申込受付期間 8月9日(金曜日)から9月6日(金曜日)まで

第1次試験日 9月29日(日曜日)

試験名 警察官A

申込受付期間 4月23日(火曜日)から6月17日(月曜日)まで

第1次試験日 7月14日(日曜日)

試験名 警察官B

申込受付期間 7月19日(金曜日)から9月2日(月曜日)まで

第1次試験日 9月22日(日曜日)

◆受験案内配布開始日

大学卒業程度 5月10日(金曜日)

短大・高校卒業程度 8月9日(金曜日)

市町村立学校事務職員 8月9日(金曜日)

警察官 A 4月23日(火曜日)

警察官 B 4月23日(火曜日)

◆配布場所 県庁(15階人事委員会事務局、1階受付)、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所(東京・大阪・名古屋) ※県ホームページからダウンロードもできます。

●問い合わせ 人事委員会事務局 電話 023-630-2782

山形県公立学校教員選考試験

今年度の山形県公立学校教員選考試験(1次試験)を、以下のとおり実施予定です。

◆試験日 7月20日(土曜日)、21日(日曜日)

◆実施要項配布開始日 5月10日(金曜日)

◆配布場所 県庁(13階教育庁教職員課、1階受付)、各教育事務所、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所(東京・大阪・名古屋)

●問い合わせ 教育庁教職員課 電話 023-630-3406

山形県病院事業局職員選考試験(看護師)

今年度の県立病院の看護師選考試験を、以下のとおり実施予定です。

◆申込受付期間 6月3日(月曜日)から7月5日(金曜日)まで

◆試験日 8月3日(土曜日)、4日(日曜日)

◆受験案内配布開始日 5月10日(金曜日)

◆配布場所 県庁(12階県立病院課、1階受付)、各県立病院、各総合支庁総合案内窓口、県外事務所(東京・大阪・名古屋) ※県ホームページからダウンロードもできます。

●問い合わせ 県立病院課 電話 023-630-3103

催し物

やまがた森の感謝祭 2019

自然の恵みや森の大切さを感じていただける楽しいイベントを開催します。

◆日時 6月1日(土曜日)午前10時から

◆会場 眺海の森(酒田市)

◆内容 県産木材を使用した木エクラフトやネイチャーゲーム、家庭でドングリの苗木を育て、森にかえす「森のホームステイ」、庄内地域で採れた山菜などの山の恵みや特産品の販売など

●問い合わせ みどり自然課 電話 023-630-2207

2019 全国山菜サミット イン 真室川

山の恵みである山菜の魅力を全国に発信するとともに、生産者同士の情報交換や一般の方との交流を行います。

◆日時 5月31日(金曜日)午後1時から午後4時30分まで

◆場所 真室川町中央公民館

◆内容 料理家 木田マリ氏による講演、山菜料理試食、パネルディスカッション

●問い合わせ 森林(モリ)ノミクス推進課 電話 023-630-2526

お知らせ

妊産婦に対する身体障がい者等用駐車施設利用証の有効期間が拡大しました

◆県では、身体に障がいをお持ちの方や介護が必要な高齢者、妊産婦やけが人など歩行が困難な方に対し、公共施設や商業施設などの専用駐車区画の利用証を交付しています。

◆4月1日から、妊産婦に対する利用証の交付期限を産後1年まで延長しました。(産後については、乳児を同伴している場合に限り使用ができます。)

◆交付を受けるには申請が必要です。詳しくは、県ホームページをご覧ください。

●問い合わせ 地域福祉推進課 電話 023-630-2268

自動車税の納期限は5月31日(金曜日)です

自動車税は、お近くの金融機関、郵便局、コンビニ、各総合支庁税務担当課のほか、インターネットを利用してクレジットカードでも納めることができます。皆さん、忘れずに納めましょう。

●問い合わせ 税政課 電話 023-630-3347

消費税の軽減税率制度の導入について

10月1日から、消費税及び地方消費税の税率が10%に引き上げられると同時に、軽減税率制度が導入されます。軽減税率対象品目の税率は8%となります。

軽減税率対象品目

- 1 酒類・外食などを除く飲食料品
- 2 週2回以上発行される新聞(定期購読契約に基づくもの)

国税庁ホームページ(www.nta.go.jp)下部の「その他のバナー一覧」をクリックすると、事業者全般を対象とした説明会の開催日程など、詳しい情報が掲載されています。是非ご覧ください。

詳しくは検索窓に「国税庁 消費税軽減税率制度」と入れてクリック

●問い合わせ 税政課 電話 023-630-3347

5月は消費者月間です

この機会に日頃の消費行動を見つめ直し、「食品ロス削減」や「消費者被害防止」、「環境・社会・人に優しい消費」について考えてみましょう。

◆2019年度統一テーマ 「ともに築こう 豊かな消費社会 誰一人取り残さない 2019」

「消費生活サポーター」募集中! 随時募集しています。

消費者被害防止のため、県が発信する注意喚起情報などを地域や身近な人に伝えるパイプ役となるボランティアを募集しています。関心のある方は下記お問い合わせ先までお電話ください。

◆応募資格 満18歳以上の県内在住の方

●問い合わせ 消費生活・地域安全課 電話 023-630-3239

春の交通安全県民運動（5月11日から5月20日まで）

春は交通ルールに不慣れな新入学児童や、運転の未熟な新社会人などが新たに道路交通に参加し始める時期です。みんなで交通ルールを確認し、ドライバーは思いやりのある運転を心がけ、歩行者は積極的に夜光反射材を身に着け、交通事故を防ぎましょう。

●問い合わせ 消費生活・地域安全課 電話 023-630-2429

5月12日は看護の日です

5月12日のフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで、全国で「看護の日」及び「看護週間」事業が開催されます。本県においても「健康まつり」を開催します。

◆日時 5月18日（土曜日） 午前10時から午後3時まで

◆場所 県看護協会会館（山形市）

◆内容 測定、相談、体験コーナーのほか、講話や展示パネルの設置など

●問い合わせ 地域医療対策課 電話 023-630-2258

旬の地魚を味わおう！おいしい山形旬の魚キャンペーン

庄内浜の新鮮で美味しい地魚で春の味覚を楽しんでみませんか。

◆期間 5月15日（水曜日）から6月30日（日曜日）まで

◆場所 やまがた庄内浜の魚応援店、内陸地域量販店

◆内容 応援店での庄内浜の旬の魚を使った料理の提供、量販店での試食対面販売による庄内の魚の紹介

詳しくは検索窓に「おいしい山形」と入れてクリック

●問い合わせ 水産振興課 電話 023-630-2478

山形交響楽団演奏会・プロスポーツゲーム情報

第277回定期演奏会 阪哲朗常任指揮者就任記念 シューマン&ブラームス

開演日時 5月11日（土曜日）午後7時 5月12日（日曜日）午後3時

出演 指揮／阪 哲朗 ピアノ／横山 幸雄

演目 シューマン：交響曲第4番ニ短調 作品120

ブラームス：ピアノ協奏曲第1番ニ短調 作品15 ほか

会場 山形テルサ

第278回定期演奏会 ウィーン・フィル首席ファゴット奏者 デルヴォー登場

開演日時 6月8日（土曜日）午後7時 6月9日（日曜日）午後3時

出演 指揮／飯森 範親 ファゴット／ソフィー・デルヴォー

演目 モーツァルト／ファゴット協奏曲 変ロ長調K. 191 ほか

会場 山形テルサ

◎前売券 自由席4,200円 ほか

詳しくは検索窓に「山形交響楽団」と入れてクリック

●問い合わせ 県民文化スポーツ課 電話 023-630-2306

サッカーJ2(じえいつ)「モンテディオ山形」ホームゲーム

日時／5月5日(日曜日・祝日)午後4時 対戦チーム／ファジアーノ岡山
日時／5月12日(日曜日)午後2時 対戦チーム／ジェフユナイテッド千葉
日時／5月26日(日曜日)午後2時 対戦チーム／ツエーゲン金沢
日時／6月2日(日曜日)午後2時 対戦チーム／鹿児島ユナイテッドFC
日時／6月15日(土曜日)午後7時 対戦チーム／水戸ホーリーホック
日時／6月29日(土曜日)午後7時 対戦チーム／柏レイソル

会場：NDソフトスタジアム山形(天童市)

◎詳しくは検索窓に「モンテディオ山形」と入れてクリック

プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」イースタン・リーグ公式戦(2軍戦)

日時 6月15日(土曜日)午後1時
対戦チーム 北海道日本ハムファイターズ
会場 荘内銀行・日新製薬スタジアムやまがた(中山町)
日時 6月16日(日曜日)午後1時
対戦チーム 北海道日本ハムファイターズ
会場 天童市スポーツセンター野球場

●問い合わせ 県民文化スポーツ課 電話 023-630-2284

※前売券は、コンビニなどでお買い求めになれます。ただし、店舗により取り扱っていない場合もあります。

ちょこっと県政

「県ホームページご相談窓口一覧」紹介

困りごとがあったとき、どこに相談したらいいか迷ったり、適切な相談窓口にたどり着くまで時間がかかったりしたことはありませんか。

そんな時に活用いただきたいのが、県ホームページの「ご相談窓口一覧」です。県の機関はもちろん、国の主な機関の窓口も掲載しています。相談したい分野を選んで検索すると、相談窓口の名称、電話番号、受付時間などがご覧になれます。

詳しくは検索窓に「山形県 相談窓口」と入れてクリック

県の総合相談窓口はこちら・・・

●問い合わせ 県民相談室 電話 023-630-3030 または各総合支庁・地域振興局まで

広報広聴推進課かわらばん

山形県では県内外の皆さんに山形の魅力や情報をお伝えするため、さまざまな媒体を活用し発信しています。ぜひフォローしてください！

県公式フェイスブックでは皆さんに旬の山形情報をお知らせしています。アカウント名は「山形県」

県公式ツイッターでは注意喚起情報やイベント案内などつぶやいています。アカウント名は「pref_yamagata」

インスタグラムも発信中！山形の美しい風景などを皆さんにお届けしています。アカウント名は「pref_yamagata」

山形県公式動画チャンネル「やまがた Channel」では、山形の旬の魅力などを動画配信しています。知事記者会見動画もご覧になれます。中でも、「3ch 山形PR by 芸工大」では、昨年度東北芸術工科大学の学生の皆さんが企画・取材・制作した新作動画を公開しています。ユニークで面白い動画がいっぱいです。ぜひご覧ください！

<16 ページ>

タイトル) やまがた伝説

たくさんの山々があり、一年中水が豊かだから、山形県は滝の数が日本一！ 滝王国なんです！！

世界百名瀑に数えられる日本の滝はトップクラス！

滝は、川の流れによる浸食や断層のずれ、火山の溶岩で川がせき止め湖となりあふれ落ちること、岩壁の途中から水が湧き出ることなどによりできあがります。世界の中の優れた滝「世界百名瀑」に日本の滝は7つ選ばれており、そのうちの1つが、本県の「梅花皮の滝」です。百名瀑の選出数は世界で7番目、自然豊かな日本は世界トップクラスの滝の多い国といえますね。

写真キャプション) 世界百名瀑の1つ「梅花皮の滝」(小国町)

滝がたくさんあるのは、森と水が豊かってことだね。

日本には、落差 5m 以上の滝が約 2,500 あると言われています。本県には 230 もあり、その数はなんと日本一です。森林が県土の 72% を占める本県は、たくさんの雨や雪を森がたっぷり蓄えて、湧き水や渓谷などを生みます。深い山々から清らかで豊富な水が絶えず流れている「水の県」。だからこそ、数多くの美しい滝を身近に見ることができる「滝王国」なのです。

写真キャプション) 日本の滝百選の1つ「滑川大滝」(米沢市)

さまざまな形や四季折々に美しい姿を見せる山形の滝。冬には凍りつく滝も！

滝の形は、一気にまっすぐ落ちるもの、段になって落ちるもの、岩肌を滑るように落ちるものなどさまざまです。同じ形は2つとなく、新緑や紅葉といった春夏秋冬の変化が、その姿をいっそう美しく見せてくれます。寒さが厳しい冬には、水の流れがそのまま凍りつき「氷瀑」になる滝も見ることができます。北国・山形ならではの、大自然が造り出す幻想的な芸術作品に魅了されます。

写真キャプション) 冬に凍りつき巨大な氷柱を作る「二ノ滝」(遊佐町)

滝についてお話をお聞きした 武田 賢一 さん

滝マニア（県内外 500 カ所以上の滝を探訪）

新緑の今の季節が水量も多く滝を探訪する絶好の季節です！

山形には、自然のまま手つかずの魅力的な滝が多く、水の流れや音、水しぶきなど目・耳・肌など全身で楽しめます。ぜひ、身近な滝を訪ねて、山形の自然の雄大さ、美しさを感じてほしいです。

奥付

山形県広報誌 県民のあゆみ 令和元年5月号 第609号

奇数月1日発行 編集発行◎山形県広報広聴推進課

郵便番号 990-8570 山形市松波二丁目8番1号 電話 023-630-2534

表紙題字 | 山形県知事 吉村美栄子

県ホームページアドレス <http://www.pref.yamagata.jp/>